

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成26年12月18日 (2014.12.18)

【公表番号】特表2014-507553(P2014-507553A)

【公表日】平成26年3月27日 (2014.3.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-016

【出願番号】特願2013-543173(P2013-543173)

【国際特許分類】

B 2 2 F 9/24 (2006.01)

C 2 2 C 5/06 (2006.01)

C 2 2 C 5/02 (2006.01)

C 2 2 C 9/00 (2006.01)

C 2 2 C 9/05 (2006.01)

B 2 2 F 1/00 (2006.01)

B 8 2 Y 30/00 (2011.01)

B 8 2 Y 40/00 (2011.01)

【 F I 】

B 2 2 F 9/24 E

C 2 2 C 5/06 Z

C 2 2 C 5/02

C 2 2 C 9/00

C 2 2 C 9/05

B 2 2 F 9/24 B

B 2 2 F 1/00 K

B 2 2 F 1/00 L

B 8 2 Y 30/00

B 8 2 Y 40/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月31日 (2014.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの第 1 の還元性金属イオンと、少なくとも 1 つの I U P A C G r o u p 3、I U P A C G r o u p 4、I U P A C G r o u p 5、I U P A C G r o u p 6、または I U P A C G r o u p 7 からの元素もしくは元素のイオンを含む、少なくとも 1 つの第 2 の金属または金属イオンを含む、少なくとも 1 つの組成物を提供することであって、前記少なくとも 1 つの第 2 の金属または金属イオンは、前記少なくとも 1 つの第 1 の還元性金属イオンとは原子番号において異なる、組成物を提供することと、

前記少なくとも 1 つの第 1 の還元性金属イオンを、少なくとも 1 つの第 1 の金属ナノワイヤに還元することと、を含む、方法。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの第 1 の還元性金属イオンは、少なくとも 1 つの I U P A C G r o u p 11 からの元素のイオンを含む、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 3】**

前記少なくとも 1 つの第 1 の還元性金属イオンは、少なくとも 1 つの銀イオンを含む、請求項 1 ~ 2 のいずれかに記載の方法。

**【請求項 4】**

前記少なくとも 1 つの組成物は、前記少なくとも 1 つの第 2 の金属または金属イオンを含む、少なくとも 1 つの金属酸化物化合物を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

**【請求項 5】**

前記少なくとも 1 つの金属酸化物化合物は、金属酸化物ハロゲン化合物または遷移金属酸化物化合物のうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 4 に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記少なくとも 1 つの第 2 の金属または金属イオンは、+ 4 以上の酸化状態を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の方法。

**【請求項 7】**

前記少なくとも 1 つの金属ナノワイヤは、約 10 nm ~ 約 300 nm の平均直径、および約 50 ~ 約 10,000 のアスペクト比を含む、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の方法

**【請求項 8】**

前記少なくとも 1 つの金属ナノワイヤは、少なくとも 1 つの銀ナノワイヤを含む、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の方法。